

阿智村事務事業評価シート

事務事業名	合併浄化槽維持管理	担当者	生活環境課	廃棄物対策係
-------	-----------	-----	-------	--------

①事務事業の概要

総合計画での位置づけ	4. 自然と共生する、便利で安全・安心な村/生活環境の整備/環境保全			
関連する主な計画等	飯田下伊那地域循環型社会形成推進地域計画			
根拠法	阿智村合併処理浄化槽保守管理業務受託要綱			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 補助金交付	<input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他
事業の対象者	合併処理浄化槽保守管理業務委託者			
事業開始年	H8	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定

②事務事業の計画(PPLAN)、取組(DO)

実施目的	合併浄化槽を設置した住民の浄化槽維持管理を村が受託し、集合処理区(下水道事業・農業集落排水事業)の住民と同様なサービスが受けられるようする。(旧村浪合地区は対象外区域)					
具体的取組	合併浄化槽設置者と村が保守管理契約を締結し、保守管理料で消毒薬剤、保守点検、法定点検、浄化槽清掃、修理工事を行い処理水を村で定めた基準内にするよう、住民に代わって保守管理を行っている。					
実績・効果	保守管理契約を締結した合併浄化槽の設置者は、定額の保守管理料を支払うことによって、消毒薬剤、保守点検、法定点検、浄化槽清掃、小修理の手配等のわずらわしさから開放される。また、各家庭の判断により保守管理するよりも、村が全体を把握する中で保守管理することによって処理水質が均一化し、公共水域の水質の保全が図られる。					
	村管理合併 処理浄化槽	25年度 461基	26年度 467基	27年度 474基		
歳出の内 訳 (千円)	項目	金額	項目	金額	項目	金額
	工事費	1,801	保守点検	10,114		
	修理費等	1,115	清掃委託料	7,635		
	消毒薬剤	478	負担金	174		
	法定点検	1,970				
事業 コス ト	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	実績額 (千円)	21,658	22,339	23,287	25,192	25,500
	うち一般財源	2,061	2,222	3,000	2,214	2,500
	うち補助金					
	うち個人負担	19,597	20,117	20,287	22,978	23,000
従事職員 (人)	正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
	臨時職員					

③評価(CHECK)

区分	個別判定	判定理由	総合判定
必要性	住民のニーズは高いか	a 設置者と、村との契約による保守管理が定着しニーズは高い。	B
	手段、成果は妥当か	b 集合処理区との整合性を図るため妥当	
	対象者の設定は妥当か	a 法人等は除き合併処理浄化槽設置者を対象としている	
	村の関与は妥当か	a 集合処理区との整合性を図るためには、村の関与は必要条件	
有効性	期待された効果が得られたか	保守管理契約を締結した合併処理浄化槽を、村が直接管理することによって処理水の水質管理を行うことができる。	A
効率性	コストの削減に努めたか	a 浄化槽汚泥の引き抜き時期を水質に影響の無い範囲で、最大限に伸ばした	B
	効率性を高める工夫はされたか	b ブロア機械部品の製造中止(50タイプ)による部品交換を行い本体の使用可能期間の延長に努めた	
公平性	受益者負担は適切か	下水道、農業集落排水世帯との不公平感が生じないよう、月々の保守管理料を徴収しているが、修繕工事が増加しており一般財源の投入が不可欠となっている。	B
総合評価	B		

④改善(ACTION)

事業の方向性	継続・維持
課題	合併処理浄化槽の付属機器の耐用年数が経過し、付属機器類の修繕や取替が必要な合併浄化槽があり、修繕費用が増加している。
今後の取り組み	平成28年4月から合併浄化槽保守点検委託料を月額4,600円から4,680円に改定し、外税扱いとする。